

# 第15回安原地区文化祭・ひろばまつり

ぜひぜひ  
安原

## ステージ発表

音響設備も更新!!



## 作品展示

## ★ 催し物コーナー ★



日頃の成果をぜひご覧ください



大人も子どもも  
楽しくわいわい





### 中原町防災訓練



福岡県久留米市の中学校更衣室で先生がタバコを吸っていて吸殻をゴミ箱に入れたのが発火。たまたま残業していた先生がいたため、ボヤですんだようです。

急に寒くなり、ストーブや炬燵を使う季節がやってきました。十月二十五日午前九時より、中原児童公園で防火訓練が行われました。参加者が少なかつたのですが、丸の内消防署から消防車一台、署員の方三名、第一消防団より団員八名の方が来てくださり消火器の扱い方を習いました。一般家庭用は消火剤が十五秒から二十秒位しか出ないので、遠くから噴射させて行くと、燃えている所へ行く前に



無くなってしまう注意を受けて実際に消火訓練をし、その後消防車からの放水体験をして場所を移し、中原公民館の中をスモッグで見えない状態にして歩く煙体験をしました。煙は上に上がり、天井へ昇ると今度は下へ降りて来るのであるべく低い体勢をとり壁伝いに手を添えて逃げる。実際には働いていた所で家の人が二階でタバコを吸い、下に降りて来ている間に火事になり煙は意外と早く、またたく間に充滿しました。体験から申し上げますと、とにかく逃げることを。タバコを吸う方は水を用意して場所はきめて吸うように。

注意事項としては：  
住宅用火災警報機の電池切れを点検して下さい。夜寝ている間に火事になったら大変

地域の話 62  
老若男女の楽しいひととき！  
桐保育園と公民館の交流会

十月二十三日金曜日の午前中、安原地区公民館の大会議室は半世紀以上の年の差を超えた、微笑ましくも明るく温かな雰囲気になりました。桐保育園から、ほと2組の三十人が来てくれました。かわいい年長さんを公民館で迎

です。消火器の底がサビていませんか、爆発します。新しいのに交換しましょう。給油はストーブの火を消す。キャップをしつかり閉める。漏れがあったりしたら、大変です。タンクより灯油を移す時その場を離れない、何かほかのことをしていると、絶対忘れるから、これも癖にしましょう。



いちよう並木  
今年の秋は、例年に比べる空の青さも紅葉の彩りもすばらしく美しく感じられます。

おいしい空気を吸って健康のためにと野山を歩き回ると、此の時期衣服にくっつく通称「バカ」という植物が最盛期です。子孫を残すために鳥や風、人や動物に付いてその種子を運ばせて命を繋ぐのだという。

私がよく行く山には三種類の「バカ」が今最盛期で、晩夏に咲く萩に似た五〇cmほどの薄いピンク色の花は「盗人萩」といわれ、泥棒がつま先で歩く足跡に似ているというやや菱形の実に鋭い刺があつてスボンに沢山付く。



笹の葉型で葉が少し縮んでおり丈が二〇cm位の「ちぢみ笹」は、ねばねばした液がついていて群生した中を歩くと取っても取っても衣服に粘液が残るようなしつこい「バカ」だ。友達同志で、ばか(自分のこと)に「バカ」がくっついたね等と笑いながらまだまだ歩ける幸せを感じています。

『右手・左手・くるりんぱっ！(ハイタッチ)。「誕生日の月の人は前に出て(お祝い)」。隣の人とジャンケンして・手のひらくすぐり・肩揉んであげて・・・』世代を超えた交流が生まれました。この翌週の金曜日にも、ほと1組の園児が来てくれて交流会が開かれました。桐保育園の年長さん八十三人は、来ました。

